

科 目	必・選	担 当 教 員	学年・学科	単位数	授 業 形 態							
基礎製図 (Basic Drawing)	必	靄巻 峰夫	1学年 環境都市工学科	1	半期 週2時間							
授業概要	製図の基礎と規約、製図用機器と製図用紙、平面図形の書き方、投影図の書き方、建設製図の書き方などの基礎的知識について講義及び実習を行う。											
到達目標	製図の規約を理解し、平面図形および投影図を作図することができる。(C) 建設製図を理解し、作図することができる。(C)											
評価方法	課題提出物(提出時期、図面としての的確さ・見やすさ)(70%)及び小テスト(30%)で評価する。											
教科書等	土木製図：実教出版(株)、製図用器具一式											
内 容					学習・教育目標							
第 1 週	シラバスの説明、製図の基礎と規約				C							
第 2 週	製図の基礎と規約				C							
第 3 週	製図用機器と製図用紙				C							
第 4 週	線、文字				C							
第 5 週	"				C							
第 6 週	"				C							
第 7 週	平面図形の書き方				C							
第 8 週	投影図の書き方				C							
第 9 週	"				C							
第10週	建設製図の書き方				C							
第11週	"				C							
第12週	"				C							
第13週	建設製図の作図				C							
第14週	"				C							
第15週	"				C							
第16週												
第17週												
第18週												
第19週												
第20週												
第21週												
第22週												
第23週												
第24週												
第25週												
第26週												
第27週												
第28週												
第29週												
第30週												
(特記事項)		JABEEとの関連										
		JABEE	a	b	c	d1	d2a)d)	d2b)c)	e	f	g	h
		本校の学習・教育目標	A	A	C	C	C	B	B	D	C	B

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。(【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつになります。)

基礎製図 1年

第1週～第6週

シラバスを参照して、授業のスケジュールおよびガイダンスを行う。また、製図の基礎的な知識として、製図用器具（製図用紙、鉛筆、製図板、定規、三角スケール、コンパスなど）の取り扱い及び用途について解説し、さらに図形を表現する線（実線、破線、一点鎖線、二点鎖線）と文字（数字、英字、かな、漢字）等の用途及び種類について学習し、それらの実習を行う。

第7週

平面図形の書き方について説明し、簡単な平面図形の作図を行う。

第8週～第9週

投影図の種類や書き方について説明し、簡単な投影図の作図を行う。

第10週～第12週

寸法の記入法や勾配など、建設製図の基礎知識について説明する。

第13週～第15週

簡単な建設製図について作図を行う。

それぞれの作図方法について説明後、簡単な小テストを実施し、理解を深める。